

5. 石川県言語聴覚士会 震災支援活動報告

・発表、講演

水上 匡人（市立輪島病院）

令和6年度能登半島地震におけるDMAT活動検証会
「令和6年度能登半島地震におけるDMAT活動検証会」

藪越 文佳（公立能登総合病院）

豊橋リハビリテーション連絡会（シンポジウム形式）
「能登中部圏域のリハビリテーションの現状」

徳田 紀子（二ツ屋病院）

- ① 日本リハビリテーション栄養学会 日本災害医学会・日本栄養士会合同セッション
災害時のリハビリテーション栄養
「能登半島地震での支援経験より言語聴覚士の立場から」
- ② 第25回日本言語聴覚学会協会企画
「ミールラウンド報告」
- ③ ぼうさいこくたい2024 in 熊本 ポスター発表
「令和6年能登半島地震におけるJRAT活動（ミールラウンド担当）」

宗石 順子（金沢医療センター）

第40回栄養治療学会
「当院における被災嚥下障害患者のまとめ」

藪下 千穂（恵寿総合病院）

北陸言語聴覚学会
「能登半島地震における被災病院のSTとしての対応 一院内での活動を中心に」

金沢 一恵（かがやきクリニック）

- ① 第25回日本言語聴覚学会協会企画
「ミールラウンド報告」
- ② 静岡災害リハビリテーション研修会
「令和6年能登半島地震後の石川県3士会の活動から（言語聴覚士会担当）」
- ③ 大阪JRAT研修会
「災害リハビリテーション支援活動とは ～能登半島地震での活動から学ぶ～
能登半島地震におけるSTの活動」
- ④ 北陸言語聴覚学会
「令和6年能登半島地震における1.5次避難所での言語聴覚士としての取り組み」

・復興リハ活動

1/12 輪島市門前地区仮設住宅集会場 担当：徳田（二ツ屋病院）
（劔地第一団地、浦上第一団地）

1/26 輪島市門前地区仮設住宅集会場 担当：水上（市立輪島病院）
（道下第一団地、道下二団地、道下第三団地、清水第一団地、館第一団地）

2/2 輪島市門前地区仮設住宅集会場 担当：金沢（かがやきクリニック）
（七浦第一団地・本郷第一団地）

同行者：穴水総合病院 下出医師 実施内容：口腔フレイル予防巡回支援

6. キャリアアップ支援事業

県士会では、「言語聴覚士の自己研鑽及び業務に役立つ資格取得等の支援を行う」ことを目的としたキャリアアップ支援事業を行っております。本事業は、対象となる会員に対して研修にかかる費用（受講費や交通費等）を助成するものとなっております。

本年度申請をいただき助成を行った研修は下記の2件です。（掲載は申請日順）

- ・『PCITイニシャルワークショップ in 東京』（公立能登総合病院 藪越 文佳 会員）
- ・『第18回JIMTEF災害医療研修ベーシックコース』（(株)アルバ 山本 千敦 会員）

応募資格や応募方法等の詳細につきましては、県士会のホームページに掲載されております。皆様により一層ご活用していただくために、適宜見直しを行いながら次年度以降も運営して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

金沢こども医療福祉センター 藤田 徹

研修報告書①

提出日 2024年9月16日

所属	公立能登総合病院	氏名	藪越 文佳
日程	2024年8月2、3、4日 9月14、15日		
資格 研修会名	PCITイニシャルワークショップ in 東京		
開催方法	オンライン		
研修内容	<p>PCITプログラムは「特別な遊びの時間 special play time」のなかで、親が子どものリードに従うことによって、親子の関係を強化することを目的とした前半部分（子ども指向相互交流 Child-Directed Interaction: CDI）と、CDIで獲得したスキルを維持しながら、よい命令の出し方や子どもがより親の指示・命令に従えるようにする効果的な「しつけの仕方」を指導し子どもの問題行動をターゲットにその減少をはかる後半部分（親指向相互交流 Parent-Directed Interaction: PDI）の2段階に分かれています。そしてその特徴は養育者へのライブコーチングにあります。</p> <p>今回の研修ではPCITの骨格であるCDIとPDIについて理論を学ぶとともに、ロールプレイに多くの時間を用いてスキルの獲得とコーチングの実技を行いました。また前半のDAY1-3とDAY4-5の研修の間の5週間、毎日CDIを使用する事やアプリケーションを用いた評価の宿題があり、受講者自身がスキルの定着を図りました。</p>		
成果 感想 今後の抱負	<p>PCIT（親子相互交流療法）は幼い子どものこころや行動の問題と育児に悩む親（養育者）の両者に対し、親子の相互交流を深め、その質を高めることによって回復に向かうよう働きかける行動科学に基づいた心理療法です。石川県では石川療育センターで行われていましたが、本年度より当院でも小児科医師によりPCITが開始されており、私もセラピーに関わっています。しかし、PCITセラピストになるためには、40時間のPCITイニシャルワークショップを受講することが必須となっています。その後、所定のスーパービジョンを受けると、PCIT Internationalから認定されたPCIT International Certified Therapist（認定セラピスト）になることができます。今回、イニシャルワークショップを終えたことで、今後は当院の小児科医師のスーパーバイズの元に認定セラピスト資格を目指したいと考えます。</p> <p>転勤のある医師の他にも言語聴覚士である私がセラピストとなることで、当院が能登地区でも安定してPCITを行える施設として定着できるように努力したいと思っております。</p>		

研修報告書②

提出日 2024年11月15日

所属	(株)アルバ	氏名	山本 千敦
日程	2024年9月17日～2024年10月17日		
資格 研修会名	第18回JIMTEF災害医療研修 ベーシックコース		
開催方法	オンライン		
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害医療概論 2. 東日本大震災・東京電力福島第一原発事故に対する医療対応 3. 避難所アセスメント 4. 災害と栄養 5. 災害と生活機能 6. 災害時のメンタルヘルスケア 7. 災害医療コーディネート 8. 本部運営と記録 9. 熊本市における救護班の調整と受援経験 10. 被災者と医療関係者の円滑なコミュニケーションのために 11. スフィアプロジェクト 12. エコノミークラス症候群 13. 災害対応の国際的潮流 14. 災害と感染症 15. 災害と口腔ケア 16. 災害と透析 17. 災害と高齢者 18. 高齢者診療の実際 19. 災害診療記録-J-SPEED-を中心に 20. 新型コロナウイルスパンデミックに対する医療対応 		
成果 感想 今後の抱負	<p>能登半島地震で経験したJRAT活動の意義、位置づけや実際の運営について、また、これまでの災害から積み上げてきた知見などについても知ることができた。特に、熊本で実際に受援された保健所の職員さんのお話は、現場で感じた率直なご意見から改めて各機関の連携の必要性を感じた。メンタルヘルスケア、透析の話など、今回自分の立場からは経験できなかった側面のお話も聞いた。今後も積極的に災害医療支援に携わっていきたいと考えた。</p>		

7. 県民向けイベント

1) 「言語聴覚の日」

■ 「言語聴覚の日2024」開催報告

開催日時：2024年8月25日(日) 10:30～15:00

開催場所：学びの杜 ののいちカレード
オープンギャラリー



8月25日の10時30分から、学びの杜ののいちカレードのオープンギャラリーにて言語聴覚の日のイベントを行いました。当日雨が降っていることも影響してか、来場者は去年に比べ少なく36名となりました。展示物はゆったりしており、見やすくなっていたため、来場者の方にのんびりと見ていただける空間ができていたと思います。今年は例年の展示物に加え、能登半島地震におけるSTの活動報告の掲示もあり、北國新聞社の取材にも取り上げていただくことができました。また、昨年と同様にサイレージにて動画を流し、通りがかった方も見てもらえるような工夫ができていたと思います。毎年開催されている川柳コンテストは155作品とたくさんの応募がありました。イベント当日はその中から選ばれた50作品を展示しました。50作品に限定して掲示することで全体的に見やすく投票もしやすい印象を受けました。また、川柳の文字が大きく印字されており、彩りも華やかで見ごたえがありました。来場された方から川柳をみて「温かい気持ちになりました」と感想を聞くこともできて良かったと思います。掲示や川柳を時間かけてじっくりと見てくださる方や、親子で来てくださる方もおり、少しでも言語聴覚士の仕事について知っていただける場となって、うれしく思いました。今後もたくさんの方に立ち寄っていただけるようなイベントにしていきたいと思いました。

橘 瞳 ニュースレター2024.9

■2024川柳コンテスト(入賞作品)

応募総数：155句(掲載は50句)

- **金賞** おしゃべりで ほっこり頬も ふっくらし
- **銀賞** パタカラを したから誤嚥に ご縁なし
死神が 「迎えにきたよ」 「あ?なんて?」
- **銅賞** 大丈夫 僕が目になり 耳になる
ことばより きみの笑顔が 潤滑油
むせぬよう 毎食しっかり “噛み”対応
- **入選** 誤嚥予防 口腔ケアが 防波堤
かみ合えば いい味の出る 歯と夫婦
真冬でも 蝉が鳴いてる 耳の中
話し愛 ゆっくりはっきり にっこりと
くんれんで はじめていえた 「おかあさん」



2) 県民公開講座

開催日時：2024年11月23日(土祝) 9:30～11:30

開催場所：石川県立図書館 2階 研修室①④

講師：松井 佑介氏(一般社団法人 Be.カラフル)

小林 宏明氏(金沢大学 人間社会研究域学校教育系教授)

テーマ：「吃音ってなあに？ほんとうの事を知ろう～当事者の生の声から～」

今回の県民公開講座では、多くの人に吃音について知ってもらえるように当事者の対談を企画したり、当事者と来場された方との交流を目的に受付の手伝いをしてもらったりしました。

講演では、初めに吃音の概要について分かりやすく説明していただきました。吃音の原因は体質的なこと、また環境の要因の複雑な相互作用によって生じるとのことでした。幼児期の子どもさんの多くは自身の吃音に気づいていないことが多い、学童期に入ると吃音が出ないように自分から発話を避けるようになり周りも気づきにくいという特徴があると話されていました。

次に当事者お二人からの体験談では、学校生活の中で毎日の健康チェックが苦痛だったこと、ラーメン屋でトッピングが言えないため友達の誘いを断わり、交流関係で支障が出たことなどを話されました。自分には想像できなかったことであり、貴重な話を聴かせてもらえました。吃音の対応については発話への働きかけ、心理面への働きかけ、そして環境への働きかけが必要ということで、特に印象的だったのが環境への働きかけの話題でした。啓発活動として、友達など周りの人へどう伝えるか、その際に当事者本人と伝え方までしっかりと話し合うことが重要で、慎重に事を進めるような配慮が必要と感じました。また吃音があっても最終的に上手くいったという成功体験により不安が減少するとのこと、対処方法を考えることや周りの協力を得られる環境を作ることも大事だと学ばせてもらいました。今回体験談を通して対応方法を学び、より深く理解できたと思っています。

谷口 昌代 ニュースレター2024.12

3) 小児発達相談会

開催日時：2024年7月7日(日) 7月14日(日) 9:00～13:00

開催場所：金沢市教育プラザ富樫

教育プラザ富樫にて、ことばの発達相談会を実施しました。金沢市内こども園等に案内状を出し、45名の申し込みがありました。相談会には16組のお子様にお越しいただき、1組に対してST会員2名で対応することで、保護者様とお子様の両方に余裕を持って関わることができたように思います。相談会に参加できなかった方については、メールにてご相談を受け、必要に応じて相談機関等を紹介するなど対応させていただきました。

県士会事業としての「ことばの発達相談会」は、今期で3年目を迎えました。相談会実施のための手順や必要備品・資料など少しずつ整ってきましたが、今後、より多くの会員が関わっていけるようなマニュアル作りや、定員を超える相談への対応策などが必要と思われます。

最後になりましたが、ご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。初めて参加された会員からは「保護者様に対するアドバイスが勉強になった」「お名前だけで顔を合わせたことがない会員と直接情報交換ができて良かった」等の感想がありました。今後とも皆様のご協力をよろしく願いいたします。

地域支援局 小児班 和泉 慶子 ニュースレター2024.9

8. 他団体との連携事業

1) 石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡会研修会

■市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修①

(復興リハビリテーション支援研修)

開催日時：2024年7月7日(日) 13:30～16:00

開催方法：ハイブリッド形式

講師：佐藤 亮氏(理学療法士)

内容：「平時の知識とスキルを活かした復興期リハビリテーション支援
～熊本県復興リハビリテーションセンターにおける活動の実際～」

令和6年能登半島地震の発災により、県内でも避難所や仮設住宅等で生活されている方が多くいます。今年度は、そのような方々の住環境調整や生活不活発の予防対策といった復興リハビリテーション支援に寄与できる人材の育成を目的に標記の研修会が開催されました。

まずは、熊本地震、豪雨災害を経験した熊本県災害リハビリテーション推進協議会(熊本JRAT)の事務次長の佐藤氏から熊本県での復興リハビリテーションセンターの活動等についてお話しいただきました。熊本県の復興リハの基本的考え方は、○応急仮設団地を中心に、既存の医療・介護サービスを優先し、その補完の立場で支援を行う。○被災住民本人の活動性向上を目的とし、その能力を最大限に発揮するための支援であり、住環境調整等についても身体能力を評価しその能力に合わせ、生活の中でその能力をできるだけ発揮できるよう適切な助言を行う。○自助・互助の推進を目標とし、コミュニティ構築のための支援を行う。○「コミュニティが自発的に生活不活発対策を行う」ための包括的支援を行い、それを支援の終了とする。というのだそうです。そのためには多数のリハ専門職が長期間にわたって継続的に地域に介入し続けることが必要であると実感しました。

次に、石川県復興リハビリテーション支援事業についての説明や現在の状況をお話しいただきました。ようやく仮設住宅に入って落ち着き、被災した自宅の後始末を始められるという人も多いとのこと。石川県の復興リハは、まだ始まったばかりと感じました。

復興リハを能登だけのことと考えず、石川県の言語聴覚士が一丸となって支えていけたらと改めて感じました。

城北病院 長原 幸穂 ニュースレター2024.9

■市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修②

(復興リハビリテーション支援研修)

開催日時：2025年3月1日(土) 13:00～17:00

開催場所：石川県リハビリテーションセンター 大研修室 (Zoomでのオンライン研修)

復興リハビリテーション支援事業は、石川県創造的復興プランに基づき、能登半島地震からの復興を目指す事業です。被災高齢者等の生活不活発病や要介護化を予防するため、県リハビリテーションセンターが中核機関となって、地域の医療機関に所属するリハ専門職を派遣し、仮設住宅等での相談対応や介護予防活動に取り組んでいます。今回は6市町の活動報告や職能団体からの活動報告がなされました。集団体操を活用したフレイル予防やコミュニティ再建を目指した取り組み、仮設住宅においての福祉用具活用と

個々の生活活動への対応などの報告があり、現地で活動するリハ専門職の工夫や課題などを知ることができました。

市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修2では、令和5年度の市町事業に関わるリハビリテーション専門職実態調査結果報告がなされました。まだまだ当会から市町事業に関わる機会や会員は少ないとのことでしたが、地域からのニーズに応じていけるよう研鑽を積んでいかなくてはと思いました。

城北病院 長原 幸穂 ニュースレター2025.3

2) 石川JRAT報告

令和6年能登半島地震の災害リハ支援活動として1月から活動を継続し、4月12日にいしかわ総合スポーツセンターでの活動を停止。4月30日に石川JRAT解散となった。その後、3士会で協議会を立ち上げ（4月23日に第1回会議を開催）、今後の地域リハを含めた復興リハについて方向性や仕組み作りを進めていくこととなった。

6月21日には日本言語聴覚学会（神戸）に徳田会長・金沢理事が参加。協会企画「災害基礎研修および災害支援に関心がある言語聴覚士の集い」にて15次避難で行ったミールラウンドや受援側の活動について発表。

JRATによる令和6年能登半島地震災害リハビリテーション支援報告書について、当会からは、徳田会長と金沢理事が執筆依頼に基づき作成した。

JIMTEF災害医療研修では、ベーシックコースに7月期 3名、9月期 2名受講し、今年度は5名受講完了。

令和7年2月22日に「令和6年度石川JRAT研修会」が開催され、三重中央医療センター言語聴覚士梅原 健氏「能登半島地震の経験を南海トラフ地震に生かすためにはどうすれば良いか」、鈴鹿医療科学大学理学療法士 齋藤 恒一氏「DWATの現状と課題」と題して講演を行った。当会からは14名が参加。

3) 特別支援学校の医療等外部専門家との連携事業

1. 石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

珠洲市総合病院 矢内 真実

1) 日程（合計3回）

2024年6月4日（火） 11:00～15:30

12月6日（金） 11:00～13:00

2025年2月18日（火） 11:00～13:00

2) 対象者

学部	内 容
小学部	発音について（明瞭度）
	摂食について（小学部全体）
中学部	発音について（明瞭度）

3) 備考

- ・対象者への助言は複数回実施した。
- ・今年度は県リハからの訪問やオンラインでの参加はなかった。

2. 石川県立七尾特別支援学校輪島分校

市立輪島病院 水上 匡人

1) 日程 (合計5回)

- 2024年7月3日(水) 9:30~14:30
 11月27日(水) 11:00~15:00
 2025年1月20日(月) 12:10~14:10
 2月17日(月) 12:10~14:10
 3月17日(月) 11:00~15:00

2) 対象者

学部	内 容
小学部	嚥下機能評価、食事摂取方法について
	箸の使用について
	水分摂取方法について
高等部	徐々に嚥下機能が低下している1例の食事摂取方法、食事形態の相談

3. 石川県立七尾特別支援学校

公立能登総合病院 藪越 文佳

1) 日程 (合計4回)

- 2024年7月5日(金) 9:30~13:30 ①
 11月27日(水) 9:30~13:30 ②
 2025年2月5日(水) 10:00~13:00 ③
 2月20日(木) 10:00~12:30 ④

2) 対象者

学部	内 容
小学部	コミュニケーションの様子の評価と支援方法 ②③④
	言語コミュニケーションの支援方法 ①③④
	音声言語表出につなげる支援方法 ①②
	発音の明瞭度を上げるための支援方法 ①②④
	咀嚼嚥下の評価、食具のアドバイス ①②
中等部	咀嚼を促す支援方法・食事姿勢について ①②③
	歯磨きの方法について ③
	音読時の支援方法 ①②③

3) 備考

- ・計4回の訪問で小学部7名、中等部3名の連携を実施。咀嚼嚥下に関する場合は給食時間の観察時に相談を行った。その他は授業参観後の懇談ではなく、時間を区切って個別に取り出しでお子さんの様子を拝見して担任および相談員の先生方との連携を行うスタイルが主となっている。

4. 石川県立いしかわ特別支援学校 金沢子ども医療福祉センター 村田 稚波・藤田 徹

1) 日程 (合計4回)

- 2025年1月21日(火) 12:10~13:40 (村田) ①
- 1月24日(金) 12:15~13:45 (藤田) ②
- 2月6日(木) 12:10~13:40 (村田) ③
- 3月14日(金) 12:50~14:00 (藤田) ④

2) 対象者 小学部児童2名

学部	相談内容
小学部	食形態、介助のタイミング等が適切か、口腔機能の発達を促す支援方法 (村田)
	咀嚼を含めた口腔機能の評価と支援方法 (藤田)

*事前にいただいた個別の教育支援計画と外部専門家との連携シートをもとに給食場面を参観後、担任・自立活動部の教諭と相談内容について情報共有・助言等を行った(①②③)。また、事前に録画していただいた給食場面以外の活動を見ながら、今後の摂食・コミュニケーション指導について担任・自立活動部の教諭と情報共有を行った(④)。

5. 石川県立ろう学校 金沢医療センター 清水 聡子・宗石 順子

1) 日程及び担当者 (合計4回)

- 2024年9月11日(水) 9:00~12:00 (宗石)
- 10月16日(水) 9:00~12:00 (宗石)
- 11月18日(月) 9:00~12:00 (清水)
- 12月3日(火) 13:00~16:00 16:00~ 医療教育連携研修会(清水)

2) 対象者

学部	相談内容
幼稚部	個別指導についてのアドバイス依頼。直接指導と担任への指導を実施。 事前にビデオで録画した画像をみて構音の評価方法と指導についてアドバイス。
小学部	構音についてのアドバイス依頼。直接指導と担任への指導を実施。
中学部	書き間違えや言い間違えが多い児童に対して、音韻操作の指導とアドバイスを実施。
高等部	構音について直接指導実施。

3) 備考

・医療教育連携研修会でろう学校の乳幼児相談教室、幼稚部、小学部に通っている児のうち、当院で聴覚管理・言語指導を行っている児に関して補聴状況、コミュニケーション状況、問題点を話し合い、情報共有を行った。

6. 石川県立明和特別支援学校 言語聴覚士(フリー) 太田 朗子

1) 日程 (合計4回)

- 2024年6月27日(木) 10:00~13:00 ①
- 7月1日(月) 14:30~16:30 ②
- 12月4日(水) 10:00~13:00 ③
- 12月11日(水) 14:30~16:30 ④

2) 対象者

学部	内 容
小学部	構音、コミュニケーション、課題遂行経験
中学部	摂食機能、食事行動

3) 備考

- ・①、③の訪問日に授業参観、評価を実施、②、④に懇談を実施。

7. 石川県立小松特別支援学校

アルバ 山本 千敦

1) 日程 (合計5回)

- 2024年6月27日(木) 9:20~14:00 ①
- 7月17日(水) 9:20~14:00 ②
- 8月5日(月) 9:30~12:30 *教員向け研修会
- 10月17日(木) 9:20~14:00 ③
- 12月13日(金) 9:20~14:00 ④

2) 対象者

学部	相談内容
小学部	声が小さい。もっと大きな声を出せるようにならないか。①④
	言葉の発達が気になる。①
	発音不明瞭、ご飯を噛みながらこぼす。①③
	発音が不明瞭、聞こえているのに反応がない時がある。②③
	自分からことばやカードなどで伝えるようになってほしい。②
小学部	発音が不明瞭、平仮名の読み。③④
中学部	咀嚼について ④
高等部	今持っている言葉でのやり取りの工夫、ことばを増やしたい。②

3) 備考

- ・同校教員向け研修会「ことば・コミュニケーションの実態把握と支援」

8. 石川県立小松瀬領特別支援学校

アルバ 山本 千敦

1) 日程 (合計3回)

- 2024年7月1日(月) 10:00~15:00 ①
- 10月1日(火) 10:00~14:00 ②
- 11月22日(金) 10:00~15:00 ③

2) 対象者

学部	相談内容
小学部	自分の気持ちを写真カード、文字、ICT機器等を使って相手にわかりやすく伝えることができる。②③

小学部	ストローマグでのミルク、ストローでの紙パック飲料の摂取について ①
	自分から「食べたい」という意思表示をスムーズに出す。①②③
中学部	意識して舌や唇を動かしたり、発声したりすることが増える。①②③
	水分摂取（コップ、吸い飲み）、スプーンでの捕食 ①②③
高等部	噛む経験を積み、咀嚼する力を伸ばす。①②③
	身の回りの出来事や自分の思いを周りの人に言葉で正確に伝えることができる。 食べ物を口からこぼさずに食べる。②③

9. 石川県立錦城特別支援学校 やわたメディカルセンター 勝木 準

1) 日程（合計5回）（地域の小学校1校の相談対応2回含む）

2024年7月5日（金） 9:30～14:30 ①

9月27日（金） 9:30～14:30 ②

12月6日（金） 9:30～13:30 ③

*2024年6月14日（金） 11:00～15:00 ④（市内小学校への訪問）

2025年1月31日（金） 11:00～15:00 ⑤（同上）

2) 対象者 校内 小学部児童2名、中学部生徒1名、高等部生徒1名
校外 小学1年生1名

学部	相談内容
小学部	発音不明瞭、コミュニケーション方法、食事が進まない。①②③
	発音不明瞭、仮名文字の学習について ①②③
中学部	発話を促す方法、コミュニケーション方法 ①②③
高等部	声が小さい、自分の思いや意見をなかなか話し出せない。②③
小学校*	摂食評価、食事自立に向けた支援方法の検討 ④⑤

*錦城特別支援学校の相談員の先生と一緒に訪問、食事の自立に向けた支援の相談のため、給食時間とその前後の授業・休み時間を参観し、保護者・校長・担任と懇談。2回目は市教育委員会の特別支援教育担当指導主事も懇談に参加。

4) 石川県理学療法士会 地域支援事業への協力

七尾市 令和6年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

健康講話（健康アップ講座）

日時	地区	所属	ST	会場
10月22日(火) 10:00~11:30	御祓地区	公立能登総合病院	藪越 文佳	御祓地区コミュニティーセンター
11月1日(金) 10:00~11:30	和倉地区	公立能登総合病院	藪越 文佳	和倉地区コミュニティーセンター

地域の担い手活動支援

日時	地区	所属	ST	会場
11月12日(火) 14:00~15:30	徳田地区	恵寿総合病院	諏訪 美幸	徳田地区コミュニティーセンター
12月18日(水) 11:30~12:30	徳田地区	恵寿総合病院	諏訪 美幸	徳田地区コミュニティーセンター

宝達志水町 令和6年度 宝達志水町ヘルスケアサポーター養成講座

健康講話（口腔機能向上）

日時	地区	所属	ST	会場
12月10日(火) 13:00~15:30	宝達志水町	二ツ屋病院	徳田 紀子	宝達志水町民センターアステラス

9. 2024年度 失語症者向け意思疎通支援者養成事業報告

1) 失語症者向け意思疎通支援者養成講習会

実施期間：2024年8月4日～11月23日（全講座40時間）

受講数：9名

修了者数：9名（昨年度の方2名、今年度の方7名）

今年度で5回目の養成講習。

「失語症とは何か？」から始まり、「意思疎通支援者」について、「コミュニケーション支援技法について実践を交えながら実施。また、理学療法士をお招きしての身体介助についても実習を交えて行い、危険性や注意点について学んだ。後半には失語症当事者を講師としてお招きし、コミュニケーション支援実習を数回にわたって実施。はじめは戸惑いも多く会話することへの不安も大きかったが、回数を重ねていくうちに「会話の楽しさ」を忘れないように笑顔で当事者講師との会話を重ねることができた。

2) 失語症者向け意思疎通支援者フォローアップ研修

①ブラッシュアップ講習

第1回 2024年7月14日 参加者数：24名

第2回 2025年2月15日 参加者数：20名

コミュニケーション支援技法の復習として、ロールプレイを中心としたより実践的な演習を実施。また、今後の失語症者向け意思疎通支援事業についての進捗状況、支援者同士の交流もかねた座談会も実施。派遣事業に向けての不安や疑問点、失語症友の会例会・失語症カフェへの参加など、様々な意見も頂いた。今後も定期的に支援者の質の担保に向けて開催予定。

ブラッシュアップ講習の報告

開催日時：2024年7月14日(日) 13:30～16:30

開催場所：金沢市ものづくり会館（金沢市）

令和2年度より「失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」を開催し、昨年度までの修了者は37名となりました。令和7年度から派遣事業をスタートさせたいという県の意向により、今年度はその準備を進めていくことになりました。その一つとして、養成講習会を修了された方々のフォローアップ研修を開催し、今回は24名の方が参加してくださいました。

今回はコミュニケーション技法のおさらいや実際の演習も行い、それに加えて、支援者同士の交流や意見交換会も行いました。コミュニケーション演習では「内容を忘れた」



とおっしゃる方もいましたが、しっかりと身についておられる方がほとんどで、実際のお仕事や生活の場面でも活用している方もおられました。意見交換会では、事業に対するご意見・ご質問が多く、今後の事業開始にあたり大変参考となるものばかりでした。参加者の皆様は支援者としての意欲がとても強く、私たち言語聴覚士もしっかりとフォローしていくことが大切だと感じました。

来年度からの事業開始を目指して、今回のご意見等を踏まえ、体制の整備をし、支援者の皆様が安心して活動できるよう、そして失語症の皆様が楽しく社会参加できるよう進めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いします。

コミュニケーション支援WG 金沢 一恵 ニュースレター2024.9

②失語症カフェ

能登地区 2024年8月3日 市立輪島病院

参加者4名（当事者2名、ご家族2名） ST2名

加賀地区 2024年11月2日 プロム小松

参加者4名（当事者2名、ご家族2名） ST4名 支援者5名

金沢地区 2025年2月9日 石川県立図書館

参加者16名（当事者8名、ご家族8名） ST5名 支援者5名

当事者とその家族が楽しく会話を楽しむ場として開催。

当事者ははじめ少し緊張している方が多かったが、後半には自発話が見られ、笑顔で会話を楽しむ姿がみられた。

当事者家族同士のコミュニケーションの場としてもよかったと意見あり。

普段の生活での悩み事の共有や情報共有、言語聴覚士もいるのでアドバイスも受けることができた。失語症者向け意思疎通支援者も参加し、コミュニケーション支援技術の練習として、より実践の場での研鑽になったと思われる。

来年度も回数を増やして実施予定。

コミュニケーション支援WG 金沢 一恵

10. 関連団体主催行事などへの参加活動

1) 志賀町リハビリテーション友の会 言語リハビリ講習会への講師派遣

日時	地区	所属	ST	会場
1月25日(土) 13:00~15:00	志賀町	公立能登総合病院	山本 楓	志賀町保健福祉センター

2) きこえの相談会相談員派遣

日時	地区	所属	ST	会場
8月30日(金) 9:30~11:30	内灘町	金沢医科大学病院	山崎 憲子	内灘町役場
10月2日(水) 10:00~12:00	小松市	——	村上美矢子	芦城センター
10月27日(日) 10:30~12:00	中能登	恵寿総合病院	豊田はるか	ラピア鹿島
11月19日(火) 10:00~12:00	中能登	恵寿総合病院	木村 聖子	ラピア鹿島

きこえの講演会開催報告

日 程：2024年10月2日(水)

会 場：小松市芦城センター

参加者：中途失聴・難聴者の生活教室参加者11名、要約筆記者4名、行政職

10月2日小松市芦城センターにて「きこえの健康とコミュニケーション」のテーマで講話を担当してきました。音が聞こえる仕組み、補聴器・人工内耳、ヒアリングフレイル、きこえの健康、望ましい環境調整、などの内容を用いて、参加者にご自身の聴力と言葉の聞こえ方について改めて振り返ってもらいました。耳鼻科での聴力検査受診結果を把握していない方や自覚的聴力低下に留まる方、人工内耳の情報が行き届いていない方などありました。超高齢化社会で難聴と認知症との関連も指摘されており、ますます聴覚分野でSTの活躍が望まれていると思われました。

(文責 村上 美矢子)

3) 石川県失語症友の会研修会・月例会での協力施設

	金沢支部	加賀支部	能登支部	珠洲支部
4月	総 会			
5月	日時：5/18(土) 14:00～16:00 場所：金沢ものづくり会館 担当：KKR北陸訪問看護ステーション/KKR北陸病院 ST谷口、角	日時：5/18(土) 14:00～16:00 場所：小松サン・アビリティーズ 担当：公立つるぎ病院 ST上田	地区別研修会 日時：5/18(土) 9:30～ 場所：トレジャーファーム (いちご狩り) 担当：恵寿総合病院	中止
6月	地区別研修会 日時：6/22(土) 9:30集合 場所：月うさぎの里 他 担当：金沢脳神経外科病院	日時：6/15(土) 14:00～16:00 場所：小松サン・アビリティーズ 担当：やわたメディカルセンター ST勝木	日時：6/15(土) 13:30～15:30 場所：能登総合病院 担当：能登総合病院 ST浜田、山本	中止
7月	日時：7/20(土) 14:00～16:00 場所：金沢ものづくり会館 担当：千木病院 ST高梨、森脇	地区別研修会 日時：7/20(土) 9:30集合 場所：トレインパーク白山 担当：芳珠記念病院、公立つるぎ病院 ST山川、和田	日時：7/20(土) 13:30～15:30 場所：すこやかセンター研修室 担当：公立羽咋病院 ST荒川	中止
8月	夏 休 み			
9月	合同研修会			
10月	日時：10/26(土) 14:00～16:00 場所：金沢ものづくり会館 担当：金沢大学附属病院 ST源田	日時：10/19(土) 14:00～16:00 場所：小松第一コミュニティセンター 2階セミナールームC 担当：小松市民病院 ST田嶋	日時：10/19(土) 13:30～15:30 場所：公立羽咋病院リハビリセンター 担当：公立羽咋病院 ST荒川	中止
11月	日時：11/16(土) 14:00～16:00 場所：金沢ものづくり会館 担当：金沢西病院 ST上野、木村	日時：11/16(土) 14:00～16:00 場所：小松第一コミュニティセンター 担当：小松ソフィア病院 ST朴木	日時：11/16(土) 13:30～15:30 場所：BANI HOUSE(番伊) オープンルーム 担当：恵寿総合病院 ST諏訪、木村、荒尾	中止
12月	日時：12/21(土) 11:00～ 場所：招龍亭 1階奥 特別室 金沢市西念3-5-35 担当：城北病院 ST長原	日時：12/22(日) 12:30～ 場所：ピストロア タブール 能美市中町申38-1 担当：小松市民病院 ST田嶋、岡崎	日時：12/21(土) 11:30～ 場所：プロッサム 七尾市和倉町ヲ部22-2 担当：能登総合病院 ST藪越、木村、山本	中止
1月	休 み	日時：1/18(土) 14:00～16:00 場所：小松第一コミュニティセンター 担当：公立つるぎ病院 ST上田	日時：1/18(土) 13:30～15:30 場所：公立羽咋病院リハビリセンター 担当：公立羽咋病院 ST荒川	中止
2月	日時：2/15(土) 14:00～16:00 場所：金沢ものづくり会館 担当：なごみ苑 ST野中	日時：2/15(土) 14:00～16:00 場所：小松第一コミュニティセンター 担当：やわたメディカルセンター ST勝木	日時：2/15(土) 13:30～15:30 場所：ラピア鹿島 第二研修室 担当：恵寿総合病院 ST豊田、藪下	中止
3月	日時：3/15(土) 14:00～16:00 場所：金沢ものづくり会館 担当：石川県済生会金沢病院 ST山本、井上、西田、野田	日時：3/15(土) 10:00～11:30 場所：小松第一コミュニティセンター 担当：加賀市医療センター ST高嶋	日時：3/15(土) 13:30～15:00 場所：能登総合病院 担当：能登総合病院 ST藪越、諏訪、藪下、山本	中止

4) 金沢市フレイル予防事業

【年間活動報告】

金沢市から委託を受けた金沢・健康を守る市民の会が市民全体で健康長寿のまちづくりを図ることを目的に実施している金沢市フレイル予防事業では、フレイルトレーナーとして、フレイルチェックの実践、「学ぼう!フレイル予防」講座講師、フレイルサポーター養成講座、フレイルチェック練習会等の活動を行ってまいりました。それに加えフレイル予防イベント、全国トレーナーの集いへの参加と、サポーター全体会への参加を通して、活動の振り返り、最新の知見を学び、市民へのフレイル予防のあり方を模索しています。金沢市のイベントでは、フレイルチェック体験会を開催し、STは口の健康講座、口の体操などの講座を行い、多くの方々に足を運んでいただき、興味を持っていただけていることを実感しています。サポーター養成講座で新たなサポーターが誕生してくる中、サポーター同士の交流や、自ら積極的に参加しようという仲間意識も高まりつつあることを感じています。その後押しができるよう、活動を続けてまいります。また、トレーナーの活動の中でも、多くのSTが携わることができるよう今後は活動実践者の拡大を図ってまいりたいと考えております。皆さまどうぞよろしくお願いたします。

金沢西病院 上野 真由美 ニュースレター2025.3

5) 金沢市健康づくりフェア

開催日：2024年9月28日(土)・29日(日)

開催場所：金沢健康プラザ大手町東館・西館

【開催報告】

金沢市健康づくりフェアが9月28日・29日の2日間の日程で開催されました。今年のテーマは「未病 フレイル・サルコペニア予防」ということで、健康相談や体力測定、骨密度測定、フレイルチェック体験などさまざまな催しがありました。当言語聴覚士会では、お口まわりと滑舌相談、聴力測定と聞こえについての相談、お口の体操を行いました。特に聴力検査は好評で、2日間を通して約140名の方が当会のブースにいらしてください、市民の皆様の難聴、特に加齢性難聴に対する関心の高さがわかりました。また、当会を少しでも知っていただく場になったのではないかと感じた2日間になりました。

広報部 小坂 直 ニュースレター2024.12



6) いしかわ介護フェスタ

開催日：2024年11月9日(土)

開催場所：石川県産業展示館3号館

【参加報告】

今年も介護フェスタにブース出展してきました。会場は介護に興味のある小学生やその保護者、医療・介護従事者など多く来場され活気に溢れていました。今年は能登半島地震に関する介護施設や避難所での取り組みの展示があった他、開会式では馳知事より被災された要介護状態の方を避難所や介護施設で受け入れ支えていただいたと他の出展者の方とともに、お礼の言葉をいただきました。

当会のブースではディアドコキネシスの回数が自動測定できる「健口くん」を使用し皆さんにご自身の口腔機能チェックを行ってもらった他、介護・医療現場で働く方にはなぜ「パタカラ体操」を行っているのか説明する機会にもなりました（健口くんは金沢・健康を守る市民の会様よりお借りしました）。お子さんには「吹き戻し」でのリハビリを楽しんで体験してもらえました。今年は152名と多くの方にブースに立ち寄っていただき、STについて少しでも知ってもらえたのではないかと思います。

広報部 城本 亜衣 ニュースレター2024.12



公益社団法人 石川県言語聴覚士会 2024年度 年報

2025年5月25日 発行

編集・発行 公益社団法人 石川県言語聴覚士会
〒923-8551 石川県小松市八幡イ12-7
やわたメディカルセンター 言語療法室内

TEL：0761-47-1212(代)

URL：<https://st-ishikawa.com/>

E-Mail：info@st-ishikawa.com

印刷所 マルト株式会社



石川県言語聴覚士会
ホームページ